

# 取り組み状況資料

## 【第5章 行政運営】

### 条 項：第14条 財政運営

市長は、財政の状況を的確に把握し、予算の編成に当たっては、総合計画及び行政評価の結果を反映させることにより、将来的な財政見通しに立った健全な財政運営に努めなければならない。

2 市長は、財政状況に係る情報並びに予算及び決算に係る情報を市民に分かりやすく公表することにより、財政運営の透明性の確保に努めなければならない。

### 取り組み：第2項

- ① 予算編成方針の公表、予算編成に対するパブリックコメント  
(H21～)
- ② 「絵で見る江別市予算案」をHPで公表 (H21～)
- ③ 年1回、「財政の現状と課題」の公表 (H21 以前から)

平成29年度

予 算 編 成 方 針

江 別 市

平成28年10月11日

# はじめに

## 1 総論

9月の月例経済報告（平成28年9月内閣府発表）では、「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とし、先行きは「雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される」一方で、「中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがあり、また、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある」としている。

国は、本年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2016（骨太の方針2016）」において、消費税増税の平成31年10月までの再延期を決定するとともに、「ニッポン一億総活躍プラン」「日本再興戦略2016」「まち・ひと・しごと創生基本方針2016」を閣議決定し、経済・財政一体改革を引き続き推進することとし、経済・財政再生計画における歳出・歳入両面の取り組みを進め、経済再生と財政健全化目標の双方の実現を目指す方針を示している。

また、地方行財政改革については、窓口業務の適正な民間委託等の加速と自治体クラウド等のICT化・業務改革を始めとする様々な取り組みの全国展開、及び自治体の境界を越えた広域化・共同化を軸に、各種取り組みを進めることとしている。

平成29年度の江別市の予算編成は、えべつ未来づくりビジョンの4年次目として、引き続き、まちづくりの基本理念に基づき、誰もが暮らしやすいまち、そして、住んでみたいと思ってもらえる魅力あるまちを目指して政策を推進することとする。また、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みを推進するために、この戦略の4つの基本目標を意識し、人口減少社会に対応した事業を推進する。

これまでと同様、市税や地方交付税等の一般財源総額については、増加が期待できない状況下での予算編成となるが、政策を推進するためには、創意工夫により必要な財源を生み出すことが不可欠であり、歳出においては、前年度の金額に捉われず更なる経費削減に努めることとし、歳入においても、国や道の動向を注視するとともに、各種団体の補助金の活用など、新たな財源確保策を検討の上、予算要求されたい。

## 2 政策の基本方針

えべつ未来づくりビジョンのまちづくりの基本理念に掲げた、「安心して暮らせるまち」「活力のあるまち」「子育て応援のまち」「環境にやさしいまち」の4つの柱と基本理念の根幹である「協働のまちづくり」の考え方を踏まえながら、政策を形成すること。

また、この基本理念に基づいた「まちづくり政策」を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を、政策の中核に据えて取り組みを推進するものとする。

さらに、当市における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていくものとする。

### 3 行財政改革の推進

歳入の根幹となる税収や地方交付税等の一般財源総額は、平成30年度までにおいて、平成27年度と同水準を確保するとした国の方針により、当市においては伸びを期待できる状況にはなく、また、地方交付税におけるトップランナー方式の導入など国と歩調をあわせた歳出効率化の取り組みが求められている。こうした中であって、高齢化による社会保障関係経費の増加などを踏まえると、引き続き、厳しい財政状況が予想される所であり、特に単独事業については抑制せざるを得ない状況となることも想定される。

したがって、市民意識や社会情勢の変化、国・道や経済の動向を注視しながら既存の事務事業見直しを継続するとともに、事業費及び財源については、さらなる精査を行いながら選択と集中を進め、民間手法の導入などを含め効率性、透明性の向上に努める必要がある。

平成29年度は、学校の耐震化事業などの終了により投資的経費の減少が見込まれるものの、国の地方創生関連交付金の減少や扶助費の増加など、所要の一般財源は増加すると見込まれることから、健全な財政運営を志向し続けるために、今一度、すべての事務事業をあり方から総点検するとともに、既存の事務事業の大胆な見直しを行うことにより、財源を生み出す提案をすること。

## 4 重点事項

### 1 えべつ未来戦略の推進

えべつ未来づくりビジョンでは、当市の特性や優位性を活かして、5年間に重点的・集中的に取り組むものとして「えべつ未来戦略」を示している。この「えべつ未来戦略」の4つの柱の実現に向けて、これまでの取組実績や社会経済情勢等を踏まえ、必要に応じて内容を見直した上で、戦略プロジェクトの推進に取り組むこと。

#### ①ともにつくる協働のまちづくり

協働のまちづくりの気運をさらに高め、多様な主体や様々な世代が、それぞれ社会の担い手であるという意識を持ってまちづくりに取り組める環境づくりや、協働の仕組みづくりに取り組むこと。特に、自治会における女性の活動支援に引き続き重点的に取り組むこと。

#### ②えべつの将来を創る産業活性化

産学官連携や産業間連携による産業の活性化や、市内での雇用創出や就労環境の整備、地域資源等を活かした江別市ならではの観光の振興等について取り組むこと。特に、就労意欲のある女性などの潜在的な労働力の状況について把握するとともに、税制改正の動向等を注視しながら、企業側に向けて情報を発信し、雇用の創出に重点的に取り組むこと。

#### ③次世代に向けた住みよいえべつづくり

子育て世代の定住促進に焦点をあてて、子どもを産み育てる環境の充実や、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境を整備するとともに、駅を中

心とした周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちづくりに取り組むこと。特に、雇用創出や就労環境の整備にもつながる待機児童解消対策の充実を図るとともに、地域公共交通の再編に向けた検討を重点的に進めること。

#### ④えべつの魅力発信シティプロモート

市と団体等が一体となったプロモーションを実施するとともに、ニーズにあわせて効果的に情報発信をすることや、まちの魅力を高めるための取り組みを積極的にPRするなど、江別市の認知度向上を目指した情報発信に取り組むこと。特に、ふるさと納税制度を活用した江別市の魅力発信に重点的に取り組むこと。

## 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

人口ビジョンにより明らかとなった人口減少と少子化、また、その要因となる人口の一極集中は、日本全体の課題であると同時に、当市においても最優先に取り組むべき課題である。自然減に起因する人口減少の構造を転換することは容易ではないが、えべつ未来づくりビジョンにおいては、人口減少下での持続可能なまちづくりを目指し、当市の特性や優位性を活かしたえべつ未来戦略を展開しており、江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少への対応に絞った個別計画として推進するものである。

人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立という「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方にに基づき、4つの基本目標を達成するための施策を推進する。

### 基本目標

- ①しごとをつくり、安心して働けるようにする
- ②えべつへの新しい人の流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育てを支援する
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしと健康を守るとともに、地域と地域を連携する

この目標を達成するために、多様な主体との協働による取り組みや、国や北海道のほか近隣市町村との広域連携による取り組みを進めながら、地域資源や立地性の強みを生かして、当市ならではのまち・ひと・しごと創生を推進する施策について取り組むこと。

特に、今後予定する「健康都市宣言」に基づき、誰もが健康で安心して暮らせるように、健康づくり施策を推進するとともに、子育て世代の転入や定住促進のために、住宅取得支援や空家対策に重点的に取り組むこと。

また、重点事業等理事者ヒアリングの際に、平成29年度に予定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する事業を取りまとめたところであるが、国からの交付金の減少により、一般財源の所要額が大幅に増加している。こうした状況を勘案し、交付金の減少分をそのまま一般財源に振替えることなく、財源確保に努めるとともに、重要業績評価指標（KPI）などの成果指標の実績値により、事業効果を検証した上で、目標達成への貢献度が低い事業については、積極的に事業の見直しを行うこと。

# 平成27年度当初予算(案)に対する パブリックコメントの結果と市の考え方について

平成27年2月

江別市総務部財務室財政課

## 一 募集結果一

【参考】意見の反映状況

意見提出者	5名
対象事業数	5事業
意見数	6件

A	新たに組み組むもの、 または既に組み組んでいるもの
B 4	一部について、新たに組み組むもの、 または既に組み組んでいるもの
C 2	今後の検討課題とするもの
D	実現が難しいもの等

※ このほか、対象事業以外の事柄について意見や提案がありましたので、参考とさせていただきます。

平成27年度当初予算(案)パブリックコメントの結果について

(単位:万円)

政策	取組の基本方針	番号	事業名	所管課	意見数	H26予算	H27要求	H27査定 (案)	左の財源			
									国・道	市債	その他	一般財源
1 自然・環境	1 人と自然の共生	3854	花のある街並みづくり事業	環境課	1	377.8	379.3	379.3				379.3
	2 商工業の振興	592	商工業活性化事業	商工労働課		658.5	658.5	618.5				618.5
	3 観光による産業の振興	6340	地域発見魅力発信事業	商工労働課	1	288.1	310.7	301.5				301.5
3 福祉・保健・医療	2 健康づくりの推進と地域医療の安定	6308	健康づくり推進事業	保健センター		553.6	549.1	451.1	24.3		25.0	401.8
	4 高齢者福祉の充実	6585	高齢者等社会参加促進バス助成事業	福祉課		558.6	593.5	772.0				772.0
4 安全・安心	3 消防・救急の充実	1155	応急手当普及啓発事業	救急課		52.2	57.3	52.3				52.3
5 都市基盤	1 市街地整備の推進	5493	大麻地区住環境活性化事業	政策推進課	2	433.4	177.0	173.8				173.8
6 子育て・教育	1 子育て環境の充実	5337	子ども発達支援推進事業	子ども発達支援センター		1,143.3	1,356.3	1,359.2	381.9		780.8	196.5
	2 子ども教育の充実	5583	小学校外国語活動支援事業	学校教育課		2,090.0	2,184.4	2,129.6				2,129.6
7 生涯学習・文化	2 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	6266	陶芸文化普及振興事業	郷土資料館		783.7	808.1	768.9			209.3	559.6
	3 市民スポーツ活動の充実	1037	学校体育館土曜開放事業	生涯学習課		145.9	134.5	134.5				134.5
	1 協働のまちづくりの推進	6548	自治会活動支援事業	市民生活課	1	42.6	108.6	19.7			15.7	4.0
8 協働		6504	協働を知らせてもらう啓発事業	政策推進課		122.6	49.9	46.6				46.6
	2 透明性と情報発信力の高い市政の推進	6510	えべっシティプロモーション事業	政策推進課	1	107.6	493.4					
									平成26年度補正予算に前倒し			

平成27年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

政策	事業	事業名	所管課	番号	ご意見	要求額	査定(案)	市の考え	結果
1-1	3854	花のある街 並みづくり事 業	環境課	1	<p>学校・自治体含め花壇コンテストをやるのはどうでしょうか。一般の人が好きな町・学校の花壇の場所を畫いた紙やネットで集計して1位から3位までに景品が出るコンテスト。また、花壇のために講師等をよんで、色や植え方等の講座をやってみよう。小学校には食育としても、野菜の苗を配布する。</p> <p>将来的には、木の苗等も配布して、自然の多い街になった場合、札幌の円山みたいな木や自然が多いと、土地の資産価値も上がると思います。</p>	379.3万円	379.3万円	<p>本事業は、江別市民憲章推進協議会の「花のある街並みづくり運動」と連携して実施しております。</p> <p>協議会では、花壇作りを通してまちづくりに貢献している自治会、家庭、学校、団体を対象としたコンテストを実施しており、応募のあった団体等について、協議会の審査をもとに9月に結果を発表しております。今後のコンテストの手法については、ご意見にある市民の投票や審査も含め、協議会と相談してまいりたいと考えております。</p> <p>花壇に関する講座については、協議会が例年2月に「花のある街並みづくり講演会」を開催しております。過去に庭造り、カーデニングについての講演を行っており、今後も継続する予定です。</p> <p>小学校への野菜苗の提供については、当事業とは別に小学校の総合学習の一環として、田植えや野菜栽培活動を実施しております。また、自然の多いまちづくりについては、「地域緑化事業」により自治会や学校へ苗木や資材の提供を行ってきただけです。</p> <p>「花のある街並みづくり運動」の各種事業について、これまで市の広報やホームページでお知らせしているところですが、事業の内容などを市民の皆様にご案内していただければ幸いです。また、「みどりあふれるまちづくり」を進めてまいります。</p>	B
2-3	6340	地域発見魅 力発信事業	商工労働 課	2	<p>情報提供の対象を「近隣市に住んでいる子育て世代の市民」や「札幌市に滞在する観光客」としてはありますが、その前に江別市民に知ってもらうことが大事だと考えます。パソコンやスマートフォンからの情報発信で、日本の田舎町に外国の観光客が押し寄せる時代です。市民がえべつを知り、地域資源に気付くことこそ情報発信の第一歩ではないでしょうか。</p> <p>例えば、江別ルートマップの改訂版を作成するときには、市民から「私だけのとっておきルート」を募集する、美味しい江別手揚げ袋のデザインを市内の小中学生から募集するなど市民を巻き込んだ企画があるといいのではないのでしょうか。</p>	310.7万円	301.5万円	<p>「江別ルートマップ作成事業」や「えべつプロモーション」広告掲載事業については近隣市に住んでいる子育て世代の市民や札幌市に滞在する観光客をメインターゲットとしておりますが、地域の魅力を市外のみならず、その土地に住んでいる市民に知ってもらうことも大切なことと考えております。</p> <p>江別市民に向けての情報発信については、ウォーキング・散策向けの視点で江別の魅力を紹介したルートマップを市内公共施設等に配置しているほか、江別観光協会と連携し、市内観光パンフレットやホームページ、Facebook、メールマガジンによる市内内外への情報発信を行っております。</p> <p>また、平成24年には江別市民を対象に地域資源の掘り起こしや観光ルートを考えるワークショップを実施し、本事業にも生かしているところでありますので、今後も市民の皆様からのご意見を頂きながら、江別の魅力掘り起こしと市内内外への情報発信に努めてまいります。</p>	B

(結果欄 A=新たに取組む、または既に取組んでいるもの、B=一部について新たに取組む、または既に取組んでいるもの、C=今後の検討課題とするもの、D=実現が難しいもの等)



平成27年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

政策	事業	事業名	所管課	番号	ご意見	要求額	査定(案)	市の考え	結果
5-1	5493	大麻地区住環境活性化事業	政策推進課	3	この事業に基づき大麻まちづくり懇話会や大麻雪対策住民会議に毎回参加し、活動が芽生えたと思いい、その推進の核となっているNPO法人を高く評価しています。この活動が安定定着する迄の間は、事業予算の継続は必要です。国の支出金の減額分は、他財源で補ってでも、維持、むしろ増額すべき江別市の財産だと思えます。減額はだめです。私は、困地発足以来の住人で、これ迄立派な地域活動をされる方々を沢山見せておりますが、それぞれ1代限りで終わります。目下は、困地再生を迫られています。その理由を私なりに思うに、後継者に家督を譲るといふような事業もなく、歴史もないバッドタウンの宿命で「汚れども豊かな札幌」に流れ「水清くして魚住まず大麻」と今はなったのだと感じますが、やがては必ず再生出来る整った地域体制がありますし、民度も高く、社会参加や絆を大切にす住民意識は高いのも事実です。住民、自治会、行政をつなぎ引張る束ね役は実践力でのNPOが一番です。他に替る者を知りません。住民等全員ボランティアで活動していますが、NPO法人として組織を維持できるように息切れしないように支える措置をするのが目下の江別市の役割でやがて困地再生という形で成果が出るものと思えます。 希望の市民・自治会・行政の協働活動が確立し他への範と発展することだと予想します。単なる減額は、大麻困地再生に関わる知見のなさの現われと感じます。	177.0万円	173.8万円	本事業は、大麻地区における住環境に関する様々な課題の解決に向けて、住みかえ支援やアンケート、ワークショップ等による調査・検討を行い、住まい相談やまちづくり活動等の具体的な取り組みを進めるとともに、主体となる組織づくりの検討を行い、3年計画で自立的な運営をめざすものです。過去2箇年の取り組みについては、住まい相談窓口の運営や住民参加によるまちづくり活動など、一定の成果があったものと考えております。 3年目となる平成27年度は、これまでの成果を踏まえ、自立的な運営をめざし、組織や仕組みづくりを行う最終的な段階とと考えておりますことから、その実現に向け、事業内容を精査のうえ、実施することとしております。 本事業により、自立的な運営への移行を進め、住民主体のまちづくり活動が活発化し、地域に広がること、大麻地区の課題解決につながるものと考えております。	B
				4	運営協議会の設立・開催にとまらず平成25年度以来2年間にわたり延べ数百人の市民が参加して全くの無償でワークショップや意見交換会、コミュニティづくりに取り組んできました。来年度はこのまちづくり活動がより具体的な形になっていく年です。 国費負担が廃止され、市の支出も削減されるとこれまでの市民参加のまちづくり活動が後退するばかりでなく、関心が高まっている大麻地域の住民意識の低下も避けられません。まちづくり活動の成果を確かなものにし、それを内外に発信していくこととする取り組みを市が積極的に評価、支援することを明確にする上からも一般財源からの予算の減額が適当では考えられません。 この2年間まちづくり活動に積極的に参加してきた一人として国費負担がなくなっても一般財源からの予算は減らさないうでいただきました強く要望します。				B

平成27年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

政策	事業	事業名	所管課	番号	ご意見	要求額	査定(案)	市の考え	結果
8-1	6548	自治会活動 支援事業	市民生活 課	5	<p>セミナー開催委託料を26年度対比5.2倍にし、バス借用料・会場使用料を新規に付けるなど実質新規事業であり、緊急性も疑問で市長選挙をひかえた骨格予算に大幅増額を計上することがふさわしいでしょうか。</p> <p>また、現職が出馬表明していることから、多くの市民が市長選挙を意図した特定団体への配慮との疑念をもつと思えます。自治会活動に積極参加しているものとしては残念です。単格予算の趣旨に即して他の事業同様、予算計上額の控え置きか削減にとどめ、市長選挙後改めて検討されることで十分でないでしょうか。</p>	108.6万円	19.7万円	<p>えべつ地域活動運営セミナーは、今後の自治会活動を担う人材の発掘と育成を目的として、自治会連絡協議会との共催により、平成26年8月30日・31日の両日、新規モデル事業として実施したものです。その結果、参加者からは活動に役立つものであり継続実施を望むという意見を多くいただきました。反面、日程が過密で参加者の負担が大きかったという改善点がありました。</p> <p>平成27年度は、これらの改善点等を踏まえ、担い手の人材育成に向けて地道に取り組んでいきたいと考えております。今後、予算の範囲内でより効果的な事業内容となるよう、検討してまいります。</p>	C
9-2	6510	えべつシティ プロモーション 事業	政策推進 課	6	<p>2009年から6年間にわたり延べ300回、約900もの番組をインターネットTVで放送してきた放送局が江別市内にあるのをご存知でしょうか？</p> <p>「江別を元気に！」を放送スロガンに、江別の情報発信基地として発足し、市内のイベントを取付し紹介、保育の現場の担当者が番組を作る、江別の行政の現状を市議が語る、公共施設を紹介する、伝統的な行事をアーカイブに残す、等々江別を世界に届ける地道な活動をし続けています。</p> <p>その「のっぽろ七丁目放送局」を有効利用するお考えはないでしょうか？</p> <p>今までの放送は <a href="http://hopporo7tv.com/">http://hopporo7tv.com/</a> でご覧になれます。個人的な趣味でアーカイブ作りをしているのと違い、公共性と地域性をしっかり考えた番組作りをしています。</p> <p>たとえば、放送局のアーカイブを利用したDVDの製作、一昨年全国で100回以上の出演回数を果たした放送局のキャラクターである「えべつベテラン」と連携した宣伝活動、など、より幅の広いプロモーションが可能になると思います。</p>	493.4万円	平成26年度 補正予算に 前倒し計上 (126.9万円)	<p>本事業は、江別の認知度を向上させ、江別への来訪や移住の動機付けに繋げることを目的とするもので、経済団体や大学など市内13団体とともに設置した協議会のもと、江別に相応しいプロモーションのあり方を検討し、進めることとしております。</p> <p>プロモーションを進めるにあたっては、江別の魅力を市内外へ発信することが重要であると考え、ソーシャルネットワークサービスなどのインターネットを使った情報発信などに取り組んできているところです。</p> <p>今後とも、プロモーションの推進にあたっては、江別の持つ資源を有効に活用し、効果的な情報発信を行うことが必要であることから、「のっぽろ七丁目放送局」を含め、様々な団体との幅広い連携を検討してまいります。</p> <p>なお、本事業の予算については、国の緊急経済対策による地方創生関係の交付金を活用した事業として、平成26年度の補正予算に前倒しして計上することとしてしております。</p>	C

(結果欄:A=新たに取組む、または既に取組んでいるもの、B=一部について新たに取組む、または既に取組んでいるもの、C=今後の検討課題とするもの、D=実現が難しいもの等)

# 江別市 予算案



## 基本方針

平成28年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の3年目となります。  
江別市は、「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。

### 基本理念

安心して暮らせるまち

活力のあるまち

協働のまちづくり

子育て応援のまち

環境にやさしいまち

## 予算編成のポイント

平成28年度予算編成では、この基本理念に基づいてまちづくりを進める「まちづくり政策」に沿って、継続事業や新規事業を組み立てるとともに、江別市の特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくために重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を推進します。

また、国の補正予算に伴う地方創生加速化交付金を活用し、平成27年度補正予算と一体的に推進します。

### 安心して暮らせるまち

- ・地域防災力向上支援事業
- ・住宅取得支援事業
- ・江別の顔づくり事業
- ・新栄団地建替事業
- ・公共交通利用促進対策事業
- ・江別小学校・第三小学校統合校建設事業
- ・消費者保護育成事業

### 活力のあるまち

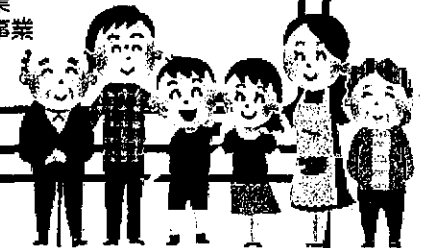
- ・商工業活性化事業
- ・総合特区推進事業
- ・江別アンテナショップGET'S管理運営事業
- ・都市と農村交流施設建設事業
- ・働きたい女性のための就職支援事業
- ・スポーツ合宿誘致推進事業
- ・有給インターンシップ等地域就職支援事業

### 子育て応援のまち

- ・保育料の独自軽減
- ・待機児童解消対策事業
- ・よつば保育園建設整備事業
- ・親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）
- ・あそびのひろば事業
- ・小中学校学習サポート事業
- ・小中学校外国語教育支援事業

### 環境にやさしいまち

- ・自治会防犯灯設置費補助金（LED化）
- ・地域緑化事業
- ・花のある街並みづくり事業
- ・環境教育等推進事業
- ・生ごみ減量化推進事業



## 予算規模（各会計予算額）

（単位：千円）

	平成27年度	平成28年度	増減	率
一般会計	45,910,000	46,450,000	540,000	1.2%
特別会計	25,442,000	26,107,000	665,000	2.6%
企業会計	18,529,008	18,566,606	37,598	0.2%
全会計	89,881,008	91,123,606	1,242,598	1.4%

一般会計は464億5千万円で、前年から5億4千万円（1.2%）増加しました。これは、江別小・第三小統合校の建設や、都市と農村交流施設の建設のほか、福祉・医療などの社会保障費の自然増によるものです。

全会計合計では、911億2,360万6千円となり、前年度から12億4,259万8千円（1.4%）増加しました。

きれいな空気、清らかな水、豊かな緑に恵まれた美しく住みよいいべつをめざします

花のある街並みづくり事業

3,557 千円

美しい街並みを創出するため、花壇づくりに積極的に取り組む自治会に対して、花苗・資材代や管理活動に対する活動協力補助金を助成します。

- ◆ 花苗助成事業補助金
- ◆ 活動協力補助金



自治会による花壇づくり

古着・古布及び小型家電

資源化事業 1,896 千円

ごみの減量化、資源化推進のため、古着・古布及び小型家電の拠点回収を実施します。また、市民のごみの減量化、資源化に対する意識を高めます。

- ◆ 古着・古布及び使用済み小型家電の拠点回収



生ごみ減量化推進事業

403 千円

家庭からの生ごみ排出量を減らすための取組を進めます。

- ◆ 生ごみ堆肥化容器購入助成
- ◆ 生ごみ水切りの啓発
- ◆ 生ごみを減らすために食材を無駄なく使いきる料理を学ぶ「生ごみダイエットレシピ」講習会開催



水辺の自然塾

環境教育等推進事業

4,017 千円

環境講座等を通して、環境保全への意識啓発をしていきます。

- ◆ えべつ環境広場の開催
- ◆ 子ども向け教育  
環境学習(総合学習)、ごみ減量体験講座  
出前環境学校、夏休み環境学校
- ◆ 市民環境講座



地域緑化事業

2,278 千円

市民との協働により地域緑化を推進し、みどり豊かな江別をつくります。

- ◆ 市民植樹の実施
- ◆ 樹木の病虫害防除
- ◆ 自治会・学校等への苗木提供
- ◆ 石狩川300万本植樹への参加



市民植樹

その他主要事業 (政策01)

■ 保存樹木等指定事業	691千円
■ 環境負荷軽減推進事業	4,660千円
■ 太陽光発電啓発事業	505千円
■ 環境マネジメントシステム事業	882千円
■ ごみ処理手数料等管理経費	80,860千円
■ ごみ収集運搬業務委託	379,826千円

■ 環境クリーンセンター等 長期包括的運営管理委託事業	981,765千円
■ リサイクルセンター管理運営事業	58,374千円
■ 分別・資源化等啓発事業	3,138千円
■ 資源回収奨励事業	45,436千円
■ 街路樹維持管理事業	16,660千円

地域特性を活かした産業が躍動するえべつをめざします

都市と農村交流事業

江別産農畜産物の地産地消や、生産者と市民の交流を支援します。また、市内だけでなく近隣にも江別の農産物ファンが拡大することを目指し、積極的にPRします。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (1,800千円)

- ◆ 直売所マップの作成・スタンプラリーの実施
- ◆ 収穫体験ツアーの実施
- ◆ 「えべつかあさんブランド」認証シール作成補助
- ◆ 新規 農産加工品開発等支援



都市と農村交流事業 バスツアー（収穫体験）



えべつかあさんブランド認証制度

都市と農村交流施設建設事業

495,481千円

「食と農による新たな体験・交流拠点」をコンセプトとした施設を、旧江北中学校の跡地に建設します。  
(平成29年4月オープン予定)

- ◆施設概要：交流拠点施設（研修室、調理実習室など）  
子育て支援施設併設 旧江北中体育館と  
渡り廊下で接続

平成27年度補正予算に一部前倒し計上 (10,620千円)

- ◆ テストキッチンにおける大型備品整備



都市と農村交流施設 完成予定図

「食」と「農」の  
豊かさ発見実践事業 1,955千円

食育推進計画に基づき、「食」と「農」への理解を深めるため、小・中学生を対象とした食育事業を実施します。

- ◆ 小学生：農業体験学習等
- ◆ 中学生：地元産食材を使った調理体験学習  
お弁当コンテストの実施



小学校の食育学習

江別産農畜産物  
ブランディング事業

江別の小麦・黒毛和牛など地域ブランドの維持・拡大や安定供給に取り組めます。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (2,640千円)

- ◆ 黒毛和牛育成支援
- ◆ 小麦品種「きたほなみ」の作付を確保するための助成



新規 6次産業化支援事業

2,708千円

江別産農畜産物を使った製品開発に対する助言、市場調査、情報発信など6次産業化に係る活動支援を行います。

- ◆ 地域おこし協力隊を活用した6次産業化支援



小麦「きたほなみ」

企業誘致推進事業

1,693 千円

札幌市に隣接した立地環境、高速道路や鉄道等で札幌や空港・港湾に直結する交通、フード特区の指定、さらには研究機関や4つの大学が市内に集積するなど、江別市の優位性を活かした積極的な企業誘致を推進します。

- ◆ 企業誘致パンフレット作成
- ◆ 企業誘致活動経費（旅費等）

企業立地等補助金

79,721 千円

江別市に立地した企業に対して、条例に基づき補助金を交付します。立地補助、雇用補助、下水道使用料補助、設備更新補助の4つの種類があります。



総合特区推進事業

5,524 千円

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）を北海道や札幌市等と連携して推進し、食品の付加価値を高める研究・産業都市への発展を図ります。

- ◆ 企業の海外市場開拓に対する支援
- ◆ フード特区の取組のPR活動

平成27年度補正予算に一部前倒し計上（6,500千円）

- ◆ 食の臨床試験活用企業への機能性食品開発支援



上空から見たRTNパーク



江別経済ネットワーク例会

江別経済ネットワーク事業

679 千円

大学・研究機関・企業などが参加する江別経済ネットワークの活動を支援します。また、経済ネットワークでの製品開発の取組をPRします。

- ◆ 江別経済ネットワーク活動支援
- ◆ 製品開発の取組PR
- ◆ 新規 旧ヒダ工場「EBRI」を活用した市民向けイベントの開催

経済活動広報事業

900 千円

市内企業による商品開発、人材育成等の取組を紹介する記事をフリーペーパーや広報えべつに掲載します。

- ◆ PR記事作成・掲載委託（年6回、フリーペーパーへ掲載予定）
- ◆ 新規 広報えべつを活用した市内企業紹介（年6回予定）

起業化促進支援事業

3,243 千円

市内で起業や事業拡大を目指す方に対し、起業化促進支援相談員によるアドバイスや、セミナー開催などの支援を行います。

- ◆ 起業化促進支援相談員による相談の実施
- ◆ 新規 創業支援セミナーの開催

野幌駅周辺地区

商店街活性化促進事業

7,308 千円

江別の顔づくり事業（街路事業）に伴う野幌商店街の再編整備促進のため、商店街の要請により出店したテナント等の出店経費を助成します。

- ◆ テナント改装費補助
- ◆ テナント家賃補助
- ◆ 商店街再編整備コーディネーター配置委託

商店街参入促進事業

750 千円

学生、地域住民、高齢者によるコミュニティー活動や趣味や特技を活かした事業活動など、商店街への参入を促進するため、各種支援制度や成功事例等を紹介するセミナーの開催、参入希望者への相談事業を行います。

- ◆ セミナー開催
- ◆ 相談事業

働きたい女性のための  
就職支援事業

働きたい女性と、女性の労働力を求める企業をつなぎ、女性の社会参加向上と企業の雇用拡大を図ります。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (22,061千円)

- ◆ 有給研修・市内企業における実習
- ◆ 就労相談窓口の設置(週1回)
- ◆ 女性向け就職支援セミナーの開催



新規 食の担い手育成支援事業

食関連企業での就業を希望する女性や若者と、市内食関連企業をつなぐことにより、食産業の担い手育成を支援します。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (4,396千円)

- ◆ 有給研修・市内企業における実習



有給インターンシップ等  
地域就職支援事業

市内企業による大学生有給インターンシップ受入れを支援します。

大学生は収入を得ながら様々な職種を体験でき、受入企業は当面の労働力と将来的な人材確保が期待できます。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (13,992千円)

- ◆ 有給インターンシップ受入企業の負担助成
- ◆ 研修拠点の運営  
拡大(研修時の交通費支給)



女性の就職支援 パソコン講習



大学生有給インターンシップ 研修

(参考) 政策08

市内大学等インターンシップ事業 413千円

市内大学と連携し学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政への理解を促進するとともに、将来、市や市内で活躍できる人材を育成します。

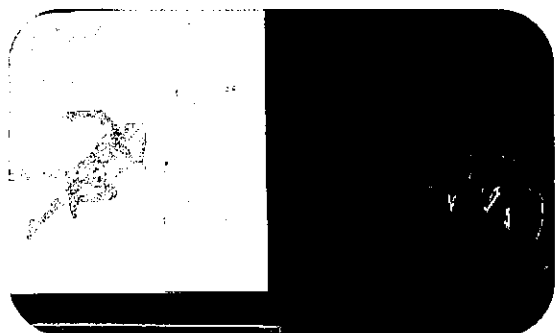
- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ  
(3か月間(実働30日)、10名程度)

高校生就職支援事業

2,500千円

就職を希望する市内高校の生徒に対して、就業体験や企業説明会等の機会を提供し、就職を支援します。

- ◆ 就業体験
- ◆ 面接指導・研修
- ◆ 企業説明会



市内大学等インターンシップ事業 実習報告会



高校生 就職面接指導

介護人材育成事業

介護分野への就労を希望する方に対して、資格の取得や市内事業所への就労を支援します。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (2,796千円)

- ◆ 研修・介護事業所での実習
- ◆ 資格取得支援
- ◆ 説明会・事業所見学会の実施



商工業活性化事業

9,320 千円

地域経済の活性化のため、新商品の開発や地域イベントの開催等を支援します。

また、商店街建築協定に基づく店舗改装や商店街が整備する共同施設建設へ助成を行います。

- ◆ 商工業活性化事業に対する補助金
- ◆ 「イベント事業」「地域資源による製品等開発事業」他
- ◆ 商店街景観向上に向けたレンガ装飾への補助金
- ◆ 商店街が整備する共同施設建設への補助金

江別観光協会補助金

2,647 千円

江別観光協会が取り組む江別市の観光プロモーション活動を支援し、観光客の増加を図ります。

- ◆ 観光パンフレット、観光名刺の作成費補助
- ◆ 観光ボランティアガイド事業の補助
- ◆ イベント等でのPR経費への補助



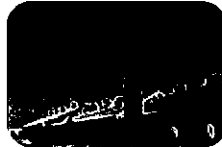
江別観光ボランティアガイド事業「まち歩き」

江別アンテナショップ  
GET'S管理運営事業

9,699 千円

旧ヒダ工場（EBRI）内アンテナショップGET'Sの管理運営を通して、江別の観光・物産の魅力を発信します。

- ◆ アンテナショップ管理運営委託
- ◆ 市内大学生と連携した壁画黒板  
チョークアートの実施



食を軸とした観光誘客

・地場産品販路拡大事業

食を中心とした江別産品の掘り起こしと高付加価値化を図り、観光の振興と地場産品の販路拡大を推進します。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (473千円)

- ◆ 札幌地下歩行空間等でのマーケティングテスト販売
- ◆ 北海道産品取引商談会
- ◆ 江別産品試食評価相談会
- ◆ 江別特産品フェア（東京都内で実施予定）開催支援



どさんこプラザ札幌店でのマーケティングテスト販売

地域発見魅力発信事業

5,351 千円

江別市の観光ルートの紹介や健康ウォーキングマップの作成、体験型イベントの実施などを通じて、江別市の魅力を効果的に発信し、観光客の誘致を図ります。

- ◆ 健康ウォーキングマップ（江別駅周辺）の更新
- ◆ ノハナショウブ群生地での保存活用
- ◆ 新規 リアル謎解きゲーム開催による周遊促進
- ◆ 新規 地域おこし協力隊による観光事業支援



江別アンテナショップGET'S

その他主要事業（政策02）

■ 地域農業経営安定推進事業	92,245千円
■ 農業振興資金貸付事業	46,535千円
■ 次世代就農定着サポート事業	13,500千円
■ 花き・野菜栽培技術指導センター 管理運営事業	9,956千円
■ 日本型直接支払交付金	189,101千円
■ 道営農業農村整備事業負担金	24,175千円

■ 国営土地改良事業償還負担金 （江別南地区）	275,232千円
■ 勤労者生活資金貸付事業	3,500千円
■ シルバー人材センター事業補助金	23,381千円
■ 商工業近代化資金融資事業	721,453千円
■ 小規模企業安定資金融資事業	322,429千円
■ 中小企業振興資金融資事業	202,706千円
■ 江別駅前再開発事業	118,889千円



だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします

健康づくり推進事業

4,255千円

第2次えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、市民の健康の保持・増進を目指した生活習慣の実践や、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 健康づくり推進員の活動支援
- ◆ 心の健康づくり
- ◆ 出前講座



健康づくり推進員事業「室内ウォーキング」



こころの健康づくり講演会

新規 地域健康相談・健康教育強化事業

健康寿命を延伸することを目的に、健康測定機器を利用した健康チェックと、保健師・管理栄養士による健康相談、栄養指導を実施します。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (1,735千円)

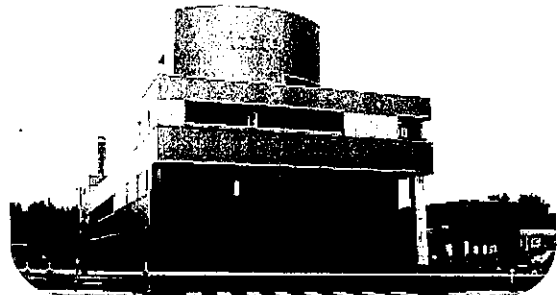
- ◆ 地域での健康相談・栄養指導(出前講座方式)

成人検診推進事業

(がん検診受診促進経費) 14,132千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨や、乳がん・子宮頸がんの無料クーポン券配布を行います。

- ◆ 検診の受診勧奨
- ◆ 無料クーポン券の配布
- ◆ 新規 自己採取HPV検査キットの送付(20歳の女性対象)



江別市保健センター



新規 E-リズム推進事業

市民の生活習慣病の予防や健康の保持増進を目的に、江別版リズムエクササイズ「E-リズム」の普及啓発を行います。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (1,184千円)

- ◆ 市民向け体験会・講習会の開催
- ◆ インストラクターの養成



江別版リズムエクササイズ「E-リズム」

高齢者等社会参加

促進バス助成事業 5,750 千円

高齢者や障がい者等の生きがいづくりや社会参加等を目的とした活動に対し、団体で借り上げるバスの費用の一部を助成します。

- ◆ 市内の福祉関係団体等に対するバス借上費用の一部助成  
(1日4万円上限(29人以下3万5千円))



障害者就労相談支援事業

9,088 千円

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口を設置し、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

市民後見推進事業

1,409 千円

今後見込まれる成年後見制度の利用増大に対応するため、市民後見人の活動を支援する体制等の検討を行います。

- ◆ 新規 後見実施機関整備に向けた検討会の実施
- ◆ 新規 市民後見人フォローアップ研修

生活困窮者自立支援事業

29,429 千円

生活保護制度の対象とならない生活困窮者の方に対する相談業務を行います。また、離職により住宅を喪失した方への支援も行います。

- ◆ 自立に向けた相談・情報提供・支援  
(江別市総合社会福祉センター内)
- ◆ 住宅確保給付金の支給
- ◆ 新規 家計相談・就労準備支援の実施



江別市総合社会福祉センター(錦町14-87)

その他主要事業(政策03)

■社会福祉協議会補助金	94,447千円
■夜間急病センター運営経費	133,491千円
■高齢者予防接種経費	63,964千円
■成人検診推進事業 (結核予防・がん検診経費)	68,173千円
■障害者自立支援給付費	2,395,715千円
■障害者自立支援給付費(児童)	405,998千円
■自立支援医療給付費	174,506千円
■重度心身障害者医療費	240,634千円

■福祉除雪サービス事業	18,871千円
■介護サービス提供基盤等整備事業	141,839千円
■地域介護・福祉空間整備等事業	33,947千円
■生活扶助自立助長支援事業	2,655,320千円
■臨時福祉給付金(3事業)	636,000千円
■国民健康保険会計繰出金	1,038,478千円
■病院事業会計繰出金	1,396,245千円
■介護保険会計繰出金	1,252,762千円
■後期高齢者医療会計繰出金	359,373千円

だれもが安全で安心して暮らせるえべつをめざします

地域防災力向上支援事業

4,069 千円

市民の防災意識啓発や災害訓練の実施により、「自助・共助」の強化を図り、地域の防災力の向上を推進します。

- ◆ 災害訓練（総合防災訓練、避難所運営訓練）
- ◆ 防災研修・出前講座
- ◆ 防災あんしんマップ作成
- ◆ 新規 避難所周知用リーフレットの作成



上江別自治連合会 自主防災訓練の様子



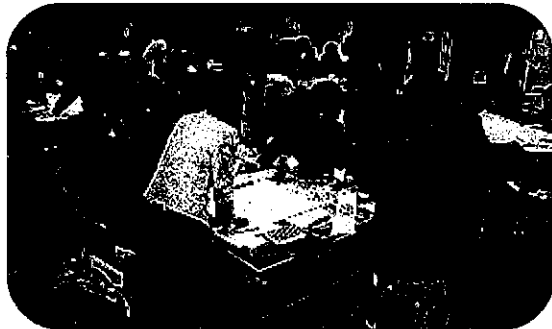
江別太小学校内の防災備蓄庫

災害対応物品整備事業

7,936 千円

災害発生時に必要な物資・資機材について、各種訓練で得られた結果をもとにして計画的に整備していきます。

- ◆ 毛布、備蓄用食糧、発電機、投光器  
避難所間仕切り用段ポール



災害図上訓練

新規 災害時協力井戸登録事業

192 千円

災害時の大規模な断水発生時における生活用水（トイレ・清掃等）の確保を目的として、災害時に地域開放が可能な井戸の登録制度を新設します。

- ◆ 市内井戸所有者への登録募集
- ◆ 災害時に標識を掲示

自治会防犯灯設置費補助金

26,044 千円

各自治会等が設置する生活道路の防犯灯について、環境負荷の低減・省エネ化のためにLED灯への更新を推進します。

また、LED灯への更新にかかる自治会等の費用負担を軽減するため、LED化促進奨励金を交付します。

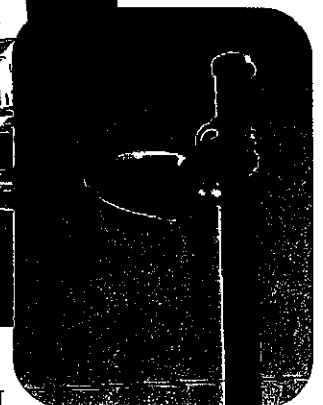
- ◆ 防犯灯設置費補助金（595灯予定）
- ◆ LED化促進奨励金（1,620灯予定）

自治会防犯灯維持費補助金

26,012 千円

交通安全の確保、夜間における犯罪防止等のため、自治会・商店街・工業団地が管理を行う防犯灯の維持費の一部に対して補助を行います。

- ◆ 防犯灯維持費補助金（電気料の60%）



LED自治会防犯灯

消防車両整備事業

77,062 千円

災害発生時に安全かつ迅速に対応できる体制を維持するため、消防車両を計画的に整備していきます。

- ◆ 化学消防車、小型動力ポンプ付積載車の更新
- ◆ 過年度に導入した車両の償還金



現在の化学消防車



消費者のひろば トークショー

消費者保護育成事業

7,735 千円

市民の消費における安全・安心確保のため、消費生活相談や消費啓発活動を行います。

消費者安全法の改正に伴い、消費生活相談窓口を平成28年度から「消費生活センター」に組織改編します。

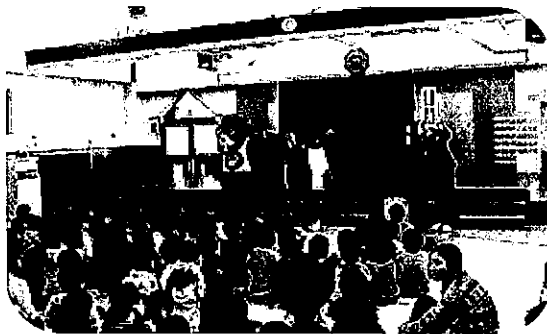
- ◆ 拡大 窓口開設時間の延長  
(月曜～金曜 9時～17時まで)
- ◆ 訪問販売お断りステッカーの作成

交通安全教育・啓発事業

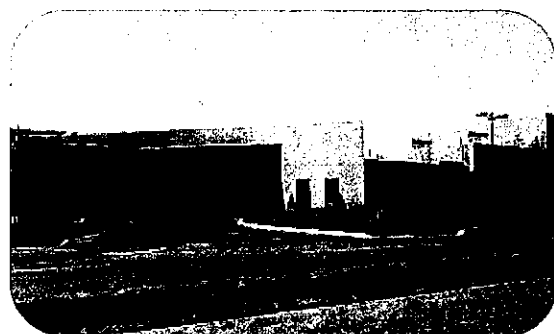
9,092 千円

交通事故防止のため、交通安全教室の開催や通学路街頭指導の実施など交通安全に係る啓発を行います。

- ◆ 交通安全教室の実施
- ◆ 拡大 交通安全指導員の拡充



交通安全教室



江別市 葬斎場

葬斎場施設整備事業

71,560 千円

葬斎場の安定運営を行うため、整備計画に基づく設備の更新、改修を実施します。

- ◆ 霊台車改修
- ◆ 火葬炉設備更新（1号炉・4号炉ほか）
- ◆ 火葬場受変電設備更新

その他主要事業（政策04）

■環境衛生対策促進事業 (市営墓地維持管理)	9,120千円
■やすらぎ苑整備事業	3,382千円
■江別河川防災ステーション管理経費	20,255千円
■排水機場維持管理事業	60,862千円
■河川等維持事業	8,500千円

■公共街路灯新設更新等事業	40,750千円
■消防庁舎・出張所維持管理費	32,926千円
■消防緊急情報システム管理経費	27,349千円
■消防車両維持管理費	12,805千円
■火災予防推進事業	1,137千円
■消防団運営費	28,867千円

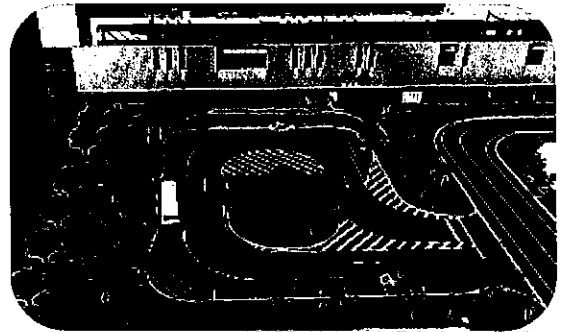
暮らしやすさを実感できるレベルに向けて都市基盤の形成をめざします

江別の顔づくり事業

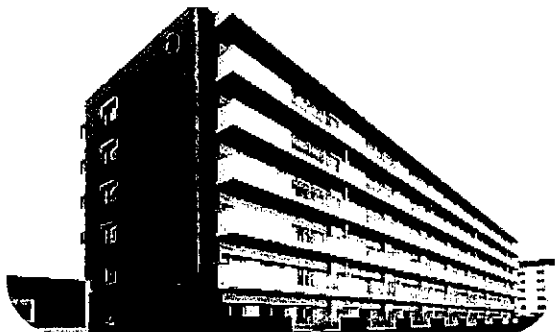
1,200,087 千円

街路・土地区画整理事業等により野幌駅周辺地区を整備し、安全で快適な都市生活の充実を図ります。

- ◆ 街路事業等  
野幌駅南通用地買収・物件補償ほか
- ◆ 商業等活性化事業
- ◆ 土地区画整理事業  
野幌駅前南口広場整備、物件補償ほか



野幌駅前南口広場完成イメージ図



完成したB棟

新築団地建替事業

389,181 千円

平成27年度に完成したB棟に続き、C棟の建設工事に着手します。

(全体計画 6棟290戸 平成22~35年度)

- ◆ C棟建設工事 (48戸 平成28~29年度)
- ◆ 既存住宅・集会所除却工事

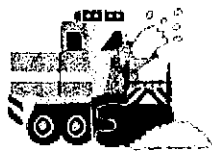
除排雪事業

自治会排雪支援事業

1,129,584 千円

冬季間における道路交通の安全確保のために除排雪を実施するとともに、自治会が行う生活道路の排雪を支援します。

- ◆ 除排雪の実施
- ◆ 自治会排雪の支援



除排雪作業

市民参加による

公園づくり事業

44,826 千円

地域の子どもや自治会等とともに、住民に親しまれる公園を整備します。

- ◆ ななかまど公園再整備工事 (野幌若葉町)
- ◆ 公園再整備のためのワークショップ



高砂駅周辺整備事業

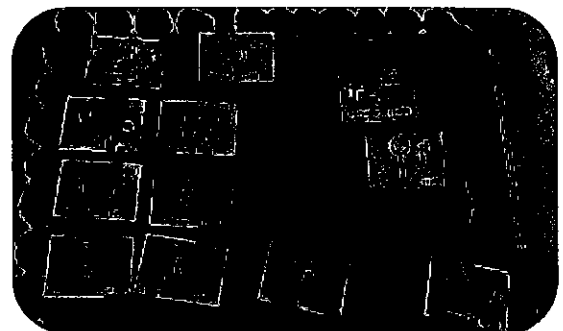
33,405 千円

高砂駅北側における渋滞を解消するため、送迎用駐車場の整備を進めます。

- ◆ 各種調査、用地取得  
(測量、埋蔵文化財調査など)



平成27年再整備 わかば公園



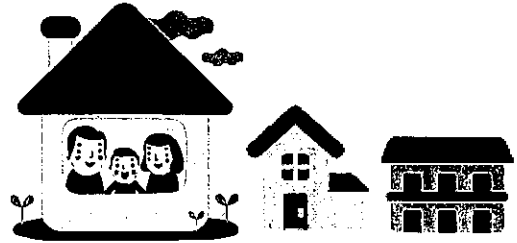
市民参加による公園ワークショップ

**新規** 住宅取得支援事業

50,000 千円

多世代同居等による転出抑制、多子世帯への転入支援・転出抑制のため、住宅取得費、リフォーム費用の一部を助成します。

- ◆ 親と同居又は近居のための住宅取得費用助成
- ◆ 親と同居するためのリフォーム費用助成
- ◆ 多子世帯への住宅取得費用助成



バス実証運行（平成27年度）

公共交通利用促進対策事業

4,569 千円

バスの利便性や交通機能の向上のため、バス実証運行の実施結果を踏まえ、駅を中心としたバス路線の再構築に向けた検討、交通計画の策定を行います。

- ◆ 新規 バス路線再構築の検討
- ◆ 新規 交通計画の策定

大麻地区住環境活性化事業

4,992 千円

高齢者等を含む多様な方々にとって住みやすい住環境が維持されるよう、大麻地区の活性化を図る取組を支援します。

- ◆ 新規 地域おこし協力隊による大麻地区活性化支援

平成27年度補正予算に一部前倒し計上（1,608千円）

- ◆ 住み替え相談窓口の運営
- ◆ ホームページ等による情報発信



大麻地区 ラベンダーロード



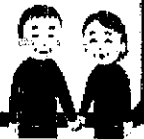
大麻地区 市街地

**新規** 高齢者安心  
コミュニティ形成事業

アンケート調査やデータ分析、先進事例の調査等の実施により、江別市の地域特性に合わせた「生涯活躍のまち」構想の検討を行います。

平成27年度補正予算に前倒し計上（10,008千円）

- ◆ アンケート調査の実施
- ◆ 先進事例の調査・研究
- ◆ 検討会議の運営



その他主要事業（政策05）

■公園管理事業	191,694千円
■公園施設改修整備事業	26,900千円
■市営住宅環境改善整備事業	32,700千円
■弥生団地大規模改善事業	117,958千円
■車両整備事業	89,807千円
■道路橋梁管理経費（臨時）	438,335千円
■道路施設再整備事業	192,500千円

■通学路安全対策事業	47,500千円
■橋梁長寿命化事業	75,000千円
■道路橋梁再整備事業	74,020千円
■百問境道路整備事業	74,607千円
■水道事業会計繰出金	61,353千円
■下水道事業会計繰出金	1,202,341千円
■石狩東部広域水道企業団繰出金	69,756千円

未来のえべつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします

保育料の独自軽減

「えべつ・安心子育てプラン（江別市子ども・子育て支援事業計画）」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自軽減率 26.03%



保育園の地域清掃活動

待機児童解消対策事業

165,706千円

0～2歳までの待機児童の解消に向け、受け皿となる小規模保育施設等に対し、開設経費や人材確保、運営費補助などにより支援します。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 小規模・事業所内保育施設の運営補助
- ◆ 施設改修補助
- ◆ 拡大 1施設増加（H28.10月予定）

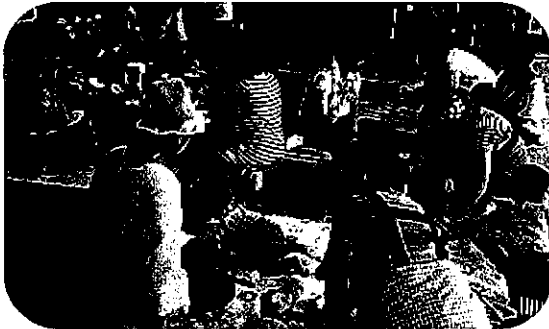


よつば保育園建設整備事業

81,273千円

老朽化した白樺保育園と若草乳児保育園を統合園として建設し、0歳～5歳までの就学前児童への一貫した保育サービスを提供します。

- ◆ 統合園外構工事、備品等整備
  - ・施設名 よつば保育園（平成28年秋頃開園予定）
  - ・定員140人（平成29年4月から）



あそびのひろば「あさひ」

あそびのひろば事業

2,921千円

地域の子どもの遊び場として、また、子育てに関する情報交換や親子の交流の場として、市内全域で月に1～2回開設します。

また、民生委員・児童委員や子育てサポーターに協力いただき、出前型のあそびのひろばを提供します。



親子安心育成支援事業  
（子育てひろば事業）

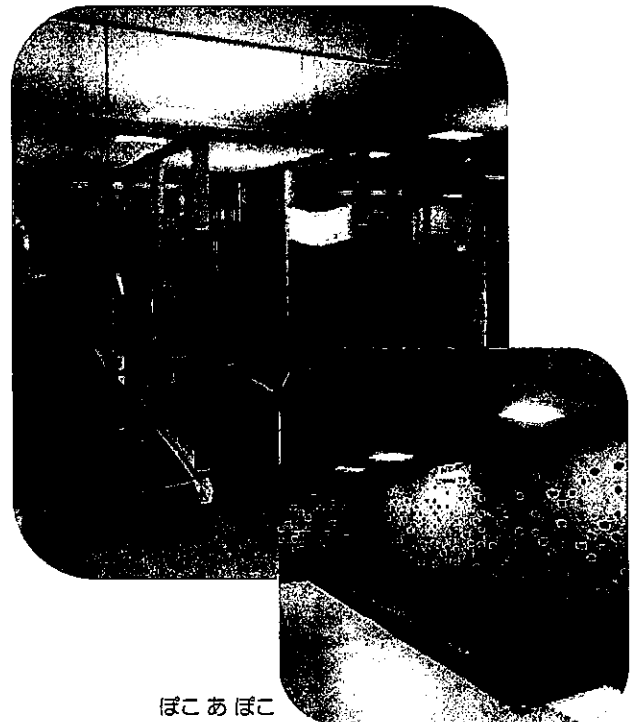
26,885千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ぼこ あぼこ』を運営します。季節や天候を問わない室内型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ぼこ あぼこ』
  - 原則無休 9:30～17:30 利用料無料
  - 0歳～小学校3年生まで（保護者同伴）
  - （図書コーナーは小学校6年生まで）



「ぼこ あぼこ」で遊ぶ親子



ぼこ あぼこ

江別小学校・江別第三小学校  
統合校建設事業 1,758,868 千円

江別小学校・江別第三小学校統合校（江別第一小学校）で使用する新校舎を建設しています。校舎には放課後児童会を併設します。

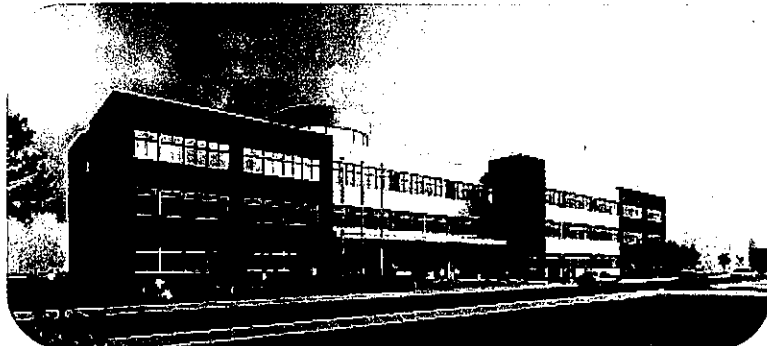
- ◆ 新校舎建設工事（平成28年10月完成予定）
- ◆ 新規 江別小学校解体工事



放課後児童クラブ  
施設整備事業 65,395 千円

平成28年度完成予定の江別小学校・江別第三小学校統合校（江別第一小学校）に放課後児童クラブを併設します。（平成28年11月オープン予定）

- ◆ 建設工事
- ◆ 放課後児童クラブ運営委託  
拡大 公設児童クラブの開設時間延長（19時15分まで）



統合校の校舎完成イメージ図

新規 いのちを育むイベント事業 221 千円

広く様々な年代の市民が、次の世代の大切な命を育むことに関心を持ち、理解を深めてもらうために、年度ごとにテーマを決めてイベントを開催します。

- ◆ 「妊娠」をテーマにしたイベントの実施（マタニティヨガ、ヒーリズムの体験会、健康相談、講演会など）



ぽこあぽこ

校舎屋体耐震化事業  
（小・中学校） 358,091 千円

学校施設の耐震化のため改築した江別太小、第一中の外構・グラウンド工事を実施します。

また、各校の体育館について、バスケットゴールや照明等非構造部材の耐震改修を平成27年度から2か年で進めています。

- ◆ 江別太小、第一中外構・グラウンド工事
- ◆ 体育館非構造部材耐震化（平成28年度14校）



江別第一中学校



江別太小学校

いじめ・不登校対策事業 5,990 千円

いじめ・不登校に悩む児童生徒の支援として、専用窓口を設置し電話・面談相談に対応します。

また、不登校児童生徒を対象としたケア事業（体験活動）、スポットケア事業（学習活動）を実施します。

- ◆ 専任指導員による電話・面談相談
- ◆ 臨床心理士による教育相談
- ◆ 拡大 スポットケア事業 週2日→週3日



情報教育推進事業

18,151千円

児童・生徒のICT教育を推進するため、児童生徒用・教員用パソコンやデジタル教科書などの情報機器を整備します。

- ◆ 教育用パソコン等ICT機器維持管理経費
- ◆ 校務用パソコンの更新
- ◆ 新規 第一小タブレットPC導入（モデル事業）
- ◆ 新規 デジタル教科書の購入（全小中学校）



情報機器を使った授業



チームティーチング 大麻泉小

小中学校学習サポート事業

9,327千円

退職教員などを活用し、複数の教員が指導するチームティーチングや、補充的学習を実施することで、子ども達の学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導（小・中学校）
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習（小・中学校）
- ◆ 放課後の補充的学習（中学校）

小中学校外国語教育支援事業

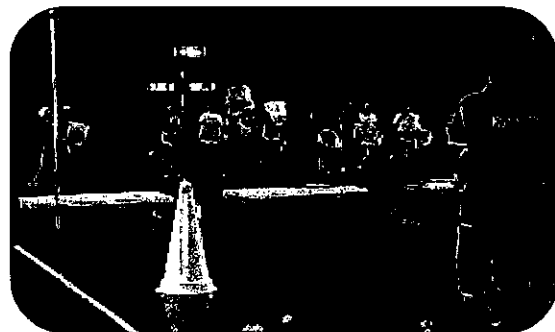
29,118千円

より低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手により、小学校全学年で外国語活動を行います。

また、中学校の英語の授業時に、外国語指導助手を派遣し、チームティーチングを行います。  
（H28～小・中学校事業統合）



外国語指導助手による授業



児童生徒体力向上事業 出前授業

児童生徒体力向上事業

657千円

北翔大学の協力のもと、小学校低学年向けに基礎的な運動を継続的にできる「朝運動プログラム」を実施します。

- ◆ 朝運動プログラムの実施（文京台小）
- ◆ 出前事業の実施（3校予定）
- ◆ 走り方教室の実施



その他主要事業（政策06）

■ 児童扶養手当	511,747千円
■ 児童手当	1,576,585千円
■ 放課後児童クラブ運営費補助金	105,631千円
■ 保育園運営経費	106,248千円
■ 教育・保育施設給付事業	1,264,120千円
■ 民間社会福祉施設整備費補助事業	281,996千円
■ 病児・病後児保育事業	18,485千円

■ 児童館地域交流推進事業	54,474千円
■ 乳幼児等医療費	125,536千円
■ 予防接種経費	146,199千円
■ 幼稚園就園奨励費補助金	118,575千円
■ 私立幼稚園補助金（運営費補助金）	10,699千円
■ 特別支援教育推進事業	35,050千円
■ 学校給食事業	238,607千円

心の豊かさを実感できる成熟した生涯学習のまち・えべつの実現をめざします

**えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業 1,478千円**

市内の4大学と市が協働で実施しているふるさと江別塾と大学自主公開講座を「えべつ市民カレッジ」として総合的に情報を提供します。

- ◆ ふるさと江別塾開催
- ◆ えべつ市民カレッジの市民向けPR拡大（開催スケジュールを広報えべつに折込）

**歴史的れんが建造物保存活用事業 17,710千円**

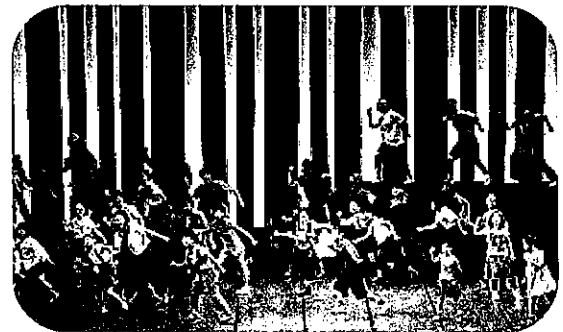
ふるさと意識の醸成や地域文化の継承のため、旧ヒダ工場（EBR1）など近代化産業遺産をはじめとした歴史的れんが建造物の保存・活用を行います。

- ◆ セラミックアートセンター敷地内モニュメント「すずらんボベダ」の補修
- ◆ 新規 EBR1を活用したイベントの実施（子ども向けモノづくりワークショップ）

**市民芸術祭開催支援事業 1,600千円**

市民の主体的な芸術文化活動の活性化を図るため、市民芸術祭の開催を支援します。

- ◆ 市民ミュージカル開催事業への補助（平成28年8月27日、28日開催予定）
- ◆ まちかどコンサート事業への補助（平成28年6月25日、12月3日開催予定）



市民ミュージカル



セラミックアートセンター 創作食器展

**セラミックアートセンター企画展開催事業 4,687千円**

「やきもののみち江別」のイメージを市民と共有し、優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、道内外の陶芸作品や芸術作品を鑑賞する企画展を開催します。

- ◆ 「（仮称）トイレ民俗誌～染付便器と北海道～」（平成28年7月～8月）
- ◆ 「江別市中学校・高校美術部合同展2016」（平成28年11月19日～12月4日開催予定）

**スポーツ合宿誘致推進事業 3,053千円**

東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機として、トップアスリートとの交流などを通じた市内のスポーツ振興を図るため、合宿誘致を進めます。

- ◆ 合宿利用団体誘致（道外からの利用団体への送迎バス提供、野幌総合運動公園利用料補助）



**体育施設整備更新事業（体育施設耐震化） 97,934千円**

平成26年度の耐震診断結果に基づき、大森体育館の耐震化を進めるため、第一体育室の耐震改修とトレーニング室棟の実施設計を行います。

- ◆ 第一体育室耐震改修
- ◆ トレーニング室棟耐震改修実施設計



その他主要事業（政策07）

■コミュニティセンター管理運営事業	16,550千円
■公民館管理運営事業	91,924千円
■図書館運営管理事業	72,901千円
■図書館設備等更新事業	19,491千円
■陶芸文化普及振興事業	7,670千円
■市民文化ホール管理運営事業	50,447千円

■市民文化祭開催支援事業	2,400千円
■芸術鑑賞招へい事業	1,850千円
■子どもの文化活動育成事業（土曜広場）	900千円
■屋内体育施設管理運営事業	178,581千円
■スポーツ大会等振興補助事業	44,751千円
■体育施設整備更新事業	32,725千円

市民や各種団体など多様な主体が、協働でまちづくりに取り組むえつをめざします

協働を知ってもらう啓発事業

1,020 千円

未来のまちづくりを担う子どもたちに協働の理念を知ってもらうため、リーフレットなどを作成し、小学4年生・中学2年生に配布します。  
また、小学4年生向けに出前講座を行います。

- ◆ 小学4年生へのリーフレット配布
- ◆ 新規 中学2年生へのパンフレット配布
- ◆ 出前講座 (小学4年生向け)



協働を知ってもらうリーフレット



江別市民活動見本市

市民協働推進事業

3,254 千円

市民協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の活動を支援します。

- ◆ 協働のまちづくり活動支援事業 (公募による市民活動団体の取組への補助)
- ◆ 市民活動団体の活性化促進
- ◆ 市民活動情報の発信

自治会活動等支援事業

142 千円

地域活動 (自治会・市民活動など) が活性化することを旨とし、地域の活動を担う人材育成を支援します。

- ◆ えつ地域活動運営セミナーの実施
- ◆ 新規 女性対象セミナーの実施



自治会活動「児童クラブ学童見守り隊」



えつ地域活動運営セミナー

男女の出会いの場づくり

支援事業 1,400 千円

若い世代を中心とした結婚の希望の実現を支援するとともに、市の魅力をPRすることにより、定住人口・交流人口の増加を図ります。

- ◆ 拡大 独身男女の出会いを支援するイベント、セミナーの開催 (年2回)



新規 地域おこし協力隊

活用推進事業 5,245 千円

地域おこし協力隊の活用を推進するため、採用および活用に必要な環境整備を行います。(4名採用予定)

- ◆ 地域おこし協力隊の募集、採用、環境整備



男女の出会いの場づくり支援事業

学生地域定着自治体連携事業

道内8自治体との広域連携による協議会を運営し、市内大学に通う学生が行う地域活動や研究等について、受入先とのマッチングを行います。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (4,892千円)

- ◆ 学生地域定着推進広域連携協議会の運営
- ◆ 学生の活動等と受入先のマッチング支援
- ◆ 学生の活動支援



大学連携事業報告会

大学連携学生地域活動

支援事業 325千円

市内4大学の学生によるまちづくりや地域活性化に資する活動に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金 (上限10万円)
- ◆ えべつ未来づくり学生コンペティションの開催 (学生の研究発表・隔年開催)

大学連携調査研究助成事業

3,039千円

市内4大学の教員による江別の地域活性化や課題解決につながる研究事業に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携調査研究事業補助金 (上限100万円)
- ◆ 大学連携事業報告会の開催



大学版出前講座

大学版出前講座支援事業

44千円

市内大学の研究機能を活かし、地域との協働のまちづくりを進めるため、地域でまちづくりを考える機会として、大学教員が地域へ出向いて実施する出前講座を支援します。

- ◆ 出前講座の登録
- ◆ 出前講座の周知・広報
- ◆ 出前講座の開催調整



市内大学等

インターンシップ事業 413千円

市内大学と連携し学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政への理解を促進するとともに、将来、市や市内で活躍できる人材を育成します。

- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ (3か月間(実働30日)、10名程度)



インターンシップ実習

その他主要事業 (政策08)

■自治基本条例啓発事業	1,599千円
■江別市民活動センター・あい施設管理費等補助金	1,880千円
■住区会館管理運営事業	51,567千円
■地域自治活動事業補助金	17,383千円
■自治会館等建築補助金	1,920千円

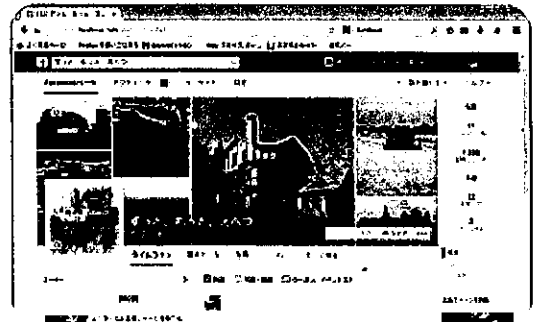
■自治会館運営補助金	3,527千円
■小中学生国内交流研修事業	1,474千円
■国際交流情報提供事業	5,659千円
■江別国際センター施設管理費等補助金	3,447千円
■江別市都市提携委員会補助金	500千円
■中学生国際交流事業	2,127千円

透明性が高く、効率的で公平な市政運営を行い、着実に計画を推進します

**えべつシティ  
プロモーション事業** 3,833 千円

江別市の認知度とイメージを高めるための取組を総合的・戦略的に実施するため、市民と行政が一体となったプロモーションを実施します。

- ◆ 江別シティプロモート推進協議会の運営
- ◆ フリーペーパーを活用した情報発信
- ◆ 拡大 スマホアプリを活用したイベントの実施



Facebookページ「ずっと、もっと、えべつ」

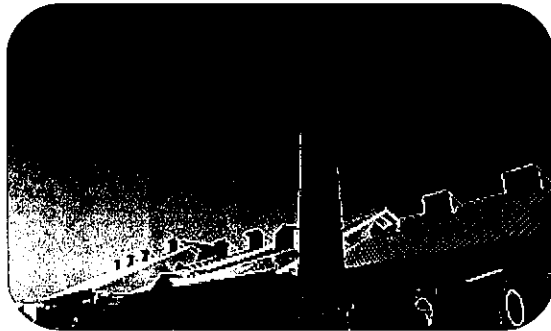
**ウェルカム江別事業** 2,625 千円

交通の利便性や数多くの公園などの快適な住環境、充実した教育体制、特色ある産業など、江別市の魅力を子育て世代にPRし、転入者の増加を目指します。

- ◆ えべつタウンマップの作成
- ◆ 転入促進パンフレットの作成
- ◆ 大学生による江別プロモーション動画の作成支援



大学生による動画作成風景



旧ヒダ工場「EBRI」

**大学生転入・住民登録  
推進事業** 168 千円

市内4大学に在籍しているが、江別市に居住していない学生や市内で一人暮らしをしていて江別市に住民登録をしていない学生に対し、市内への転入と住民登録を促します。

- ◆ 入学生、在校生に対する住民登録制度周知パンフレットの作成、配布 (大学の新生対象ガイダンス等で配布予定)

**ふるさと納税普及促進事業** 30,155 千円

ふるさと納税制度の普及・促進を図るとともに、江別市及び江別産商品PRのため、ふるさと納税を実施してくれた方(寄附者)に対し江別特産品を贈呈します。

- ◆ ふるさと納税者(寄附者)への特産品贈呈
- ◆ ふるさと納税サイト(ふるさとチョイス)の活用
- ◆ 新規 ふるさと納税管理システムの導入



ふるさと納税「江別市の特産品カタログ」

**その他主要事業 (政策09・政策の総合推進)**

■ 住民情報システム高度化事業 (基幹系システム運用)	153,179千円
■ 市税電話催告等委託事業	8,098千円
■ 個人番号カード発行関連経費	12,987千円
■ 職員研修事業	8,219千円
■ ネットワーク網整備・保守事業	60,661千円

■ ホームページ運営事業	713千円
■ 広報えべつ発行事業	13,953千円
■ 男女共同参画啓発事業	920千円
■ 庁舎維持管理経費	86,530千円
■ 旧江別小学校敷地内国有地取得等事業	64,732千円
■ 江別市平和のつどい開催経費	843千円

# 特別会計

26,107,000千円 (前年比+665,000千円、+2.6%)

## 国民健康保険特別会計

15,408,000 千円

江別市国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進のために必要な事業を行います。

- ◆ 保険給付費の増加等により、前年比3.9%増加します。
- ◆ 国保税の軽減や健診事業等のため一般会計から1,038,478千円の繰り入れを受けます。
- ◆ 特定健診の受診促進等に積極的に取り組んだ自治会に対し助成金を交付します。

## 後期高齢者医療特別会計

1,479,000 千円

主に75歳以上の高齢者の方が加入する後期高齢者医療保険制度について、保険料の管理や、申請受付等の各種事務を行う会計です。

- ◆ 被保険者が納付する保険料 1,117,877千円
- ◆ 低所得者の保険料軽減に対する公費負担 318,416千円
- ◆ その他事務費など 42,707千円

## 介護保険特別会計

9,016,000 千円

第6期介護保険事業計画に基づき、高齢化による介護給付費の増加を見据えて計画的に事業を進めていきます。

- ◆ 要介護者・要支援者の増加により前年比2.2%増加します。
- ◆ 介護予防の取り組み、地域包括支援センターの運営など地域支援事業を実施します。

## 基本財産基金運用特別会計

204,000 千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市民体育館のバスケットゴール更新整備など市の投資事業等に対する償還運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

# 公営企業会計

18,566,606千円 (前年比+37,598千円、+0.2%)

## 水道事業会計

3,718,380 千円

- ◆ 水道事業では、災害に強く安定した給水を行うため、基幹管路の耐震化と老朽配水管の布設替等による管網整備のほか、上江別浄水場の設備更新等を実施します。

## 下水道事業会計

6,221,964 千円

- ◆ 下水道事業では、安全で快適な生活環境を確保するため、重要度や緊急度を考慮した長寿命化計画に基づき、老朽化する下水道施設を計画的に改築・更新するとともに、耐震化に向けた調査を実施します。

## 病院事業会計

8,626,262 千円

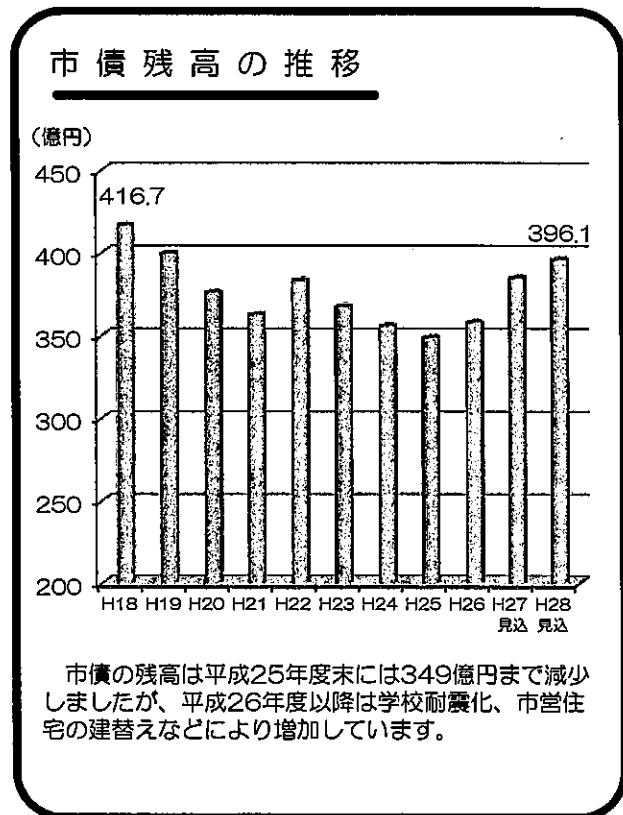
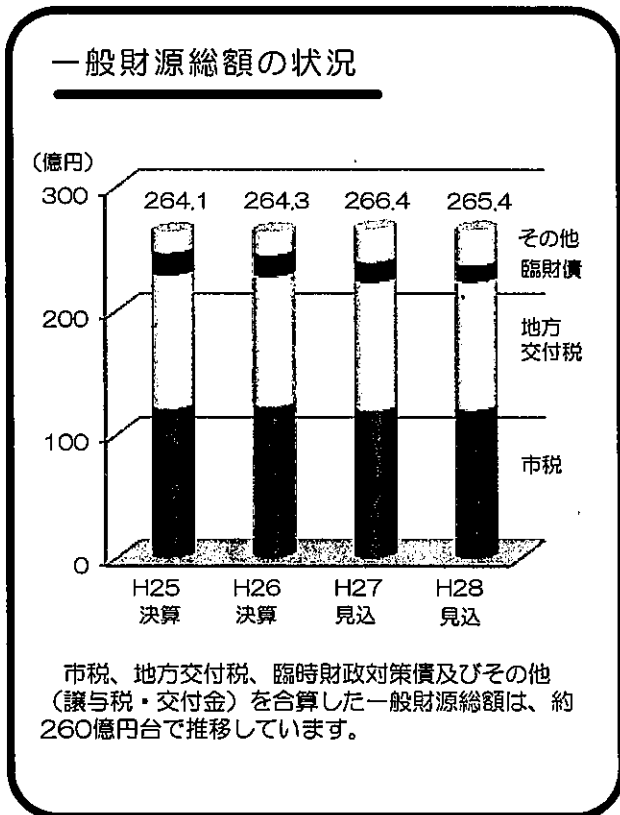
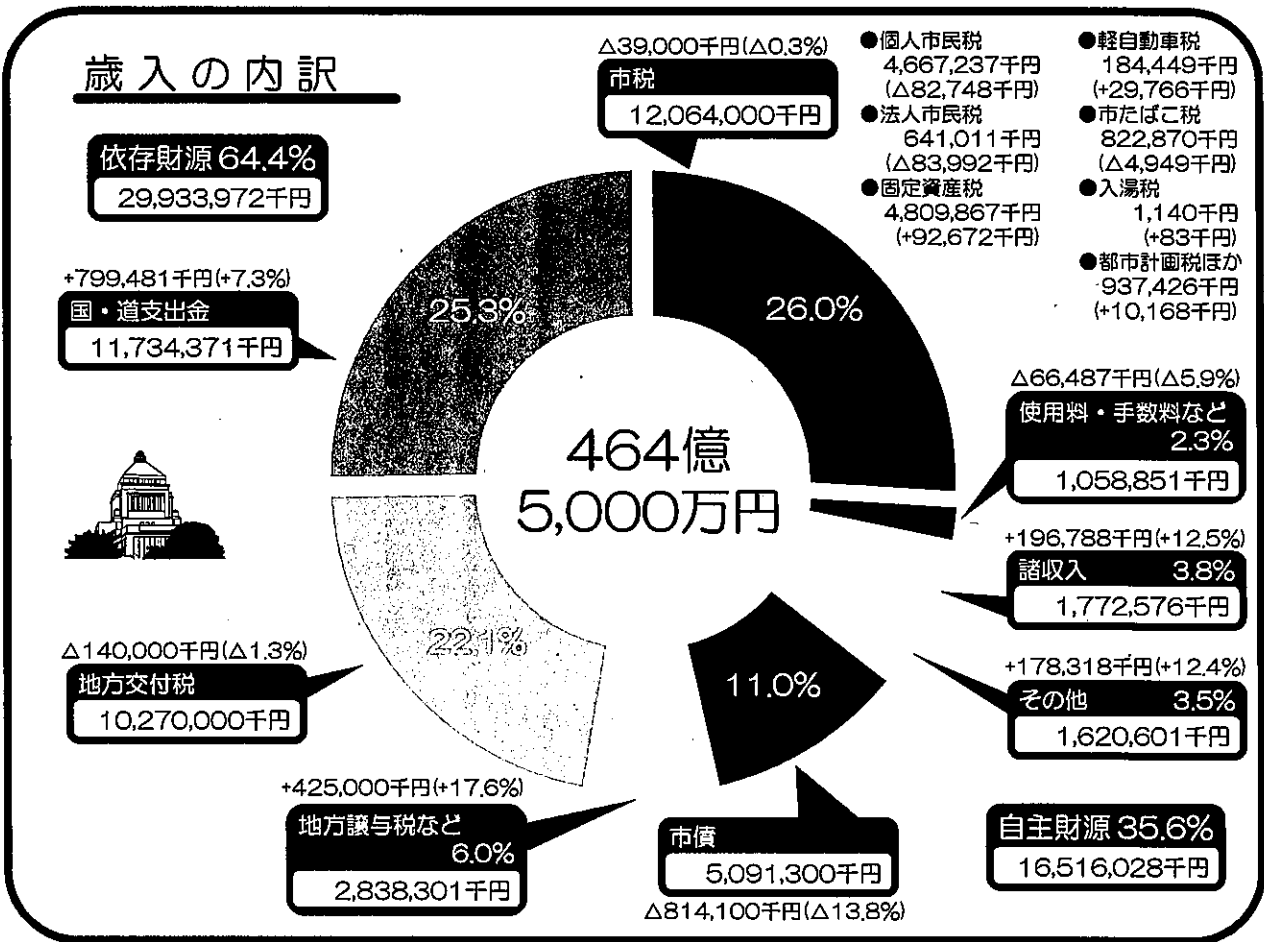
- ◆ 病院事業では、総合内科医を中心とした医師等の確保及び養成を行い、地域医療の充実に向けて良質な医療を提供します。
- ◆ 夜間急病センター及び近隣町村等への診療支援を継続します。
- ◆ 健康都市の実現に向けた各種健診及び在宅診療等の推進に努めます。
- ◆ 包括医療費支払い制度(DPC)の採用及び地域包括ケア病棟の導入による病棟再編等の抜本的な経営改革を行い、収益確保に努めます。

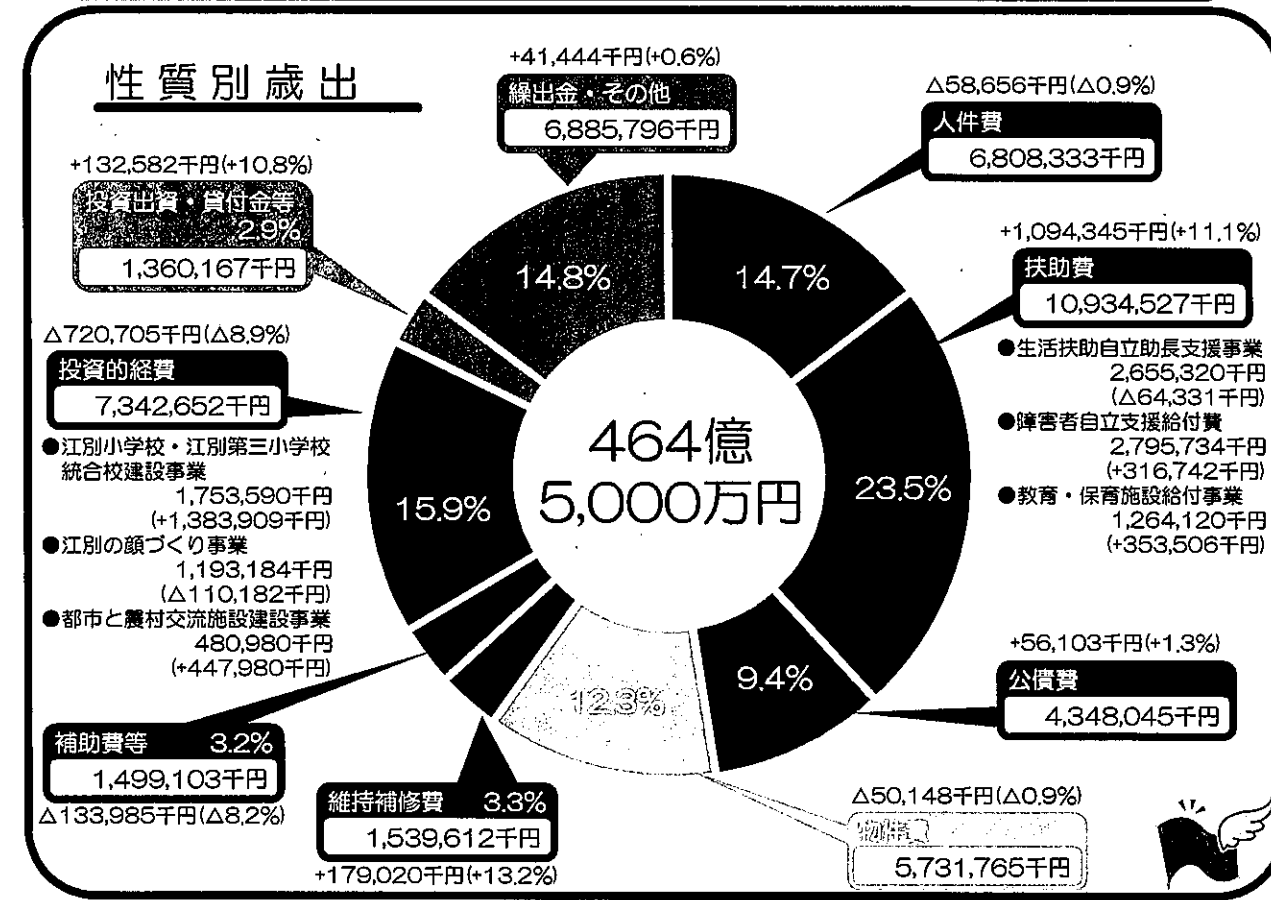
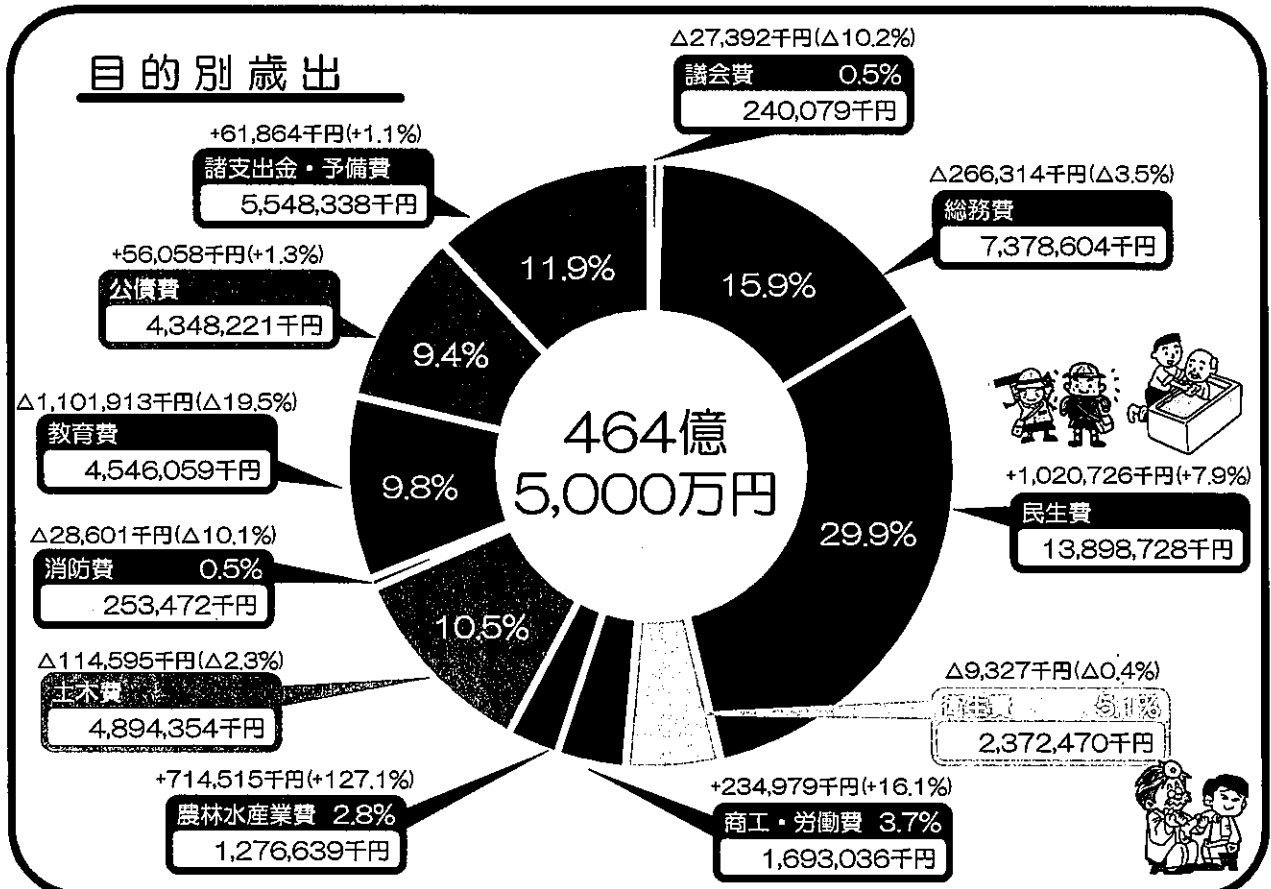


江別市立病院



江別市水道庁舎







# 江別市財政の現状と課題

平成 27 年 11 月

江 別 市

# 目 次

	ページ
①決算規模の推移 ～ 学校の耐震改築などにより増加	1
②歳入の中身 ～ 地方交付税への依存度が高い	2
③歳入の推移 ～ 根幹となる市税は横ばい	3
④歳出の状況(目的別) ～ 教育費が大幅に増加	4
⑤歳出の中身(性質別) ～ 投資的経費の割合が増加	5
⑥歳出の推移 ～ 投資的経費と扶助費の増加	6
⑦市債の状況 ～ 必要な社会基盤整備のために	7
⑧基金の状況 ～ 安定的な財政運営のため確保	8
⑨健全化判断比率 ～ 地方公共団体の財政状況を表す統一的指標	9
⑩公会計制度改革 ～ 江別市のバランスシート	10
⑪今後の収支見込と課題 ～ 財政悪化を招かないために	11

---

※ この冊子は、総務省の地方財政状況調査（決算統計）による普通会計決算数値により作成しています（普通会計とは、地方公共団体ごとに異なる会計区分を、総務省の定めた全国統一的な基準により決算数値を整理したものです）。

なお、他市との比較については、平成26年度決算速報値（北海道市長会調べ(平成27年9月時点)）に基づき作成しています。